

## 使用可能医薬品の例(2020年用)

茨城陸協医事委員会

注: 医薬品には似た名称のものがあります。必ず全ての名称(アルファベットなど)を確認しましょう。同一成分のものであれば、使用は可能です。

症状および病名	医師より処方を受ける薬(一般名)	処方箋不要、薬局で買える薬	注意
1. 頭痛・発熱・生理痛	インテバン(インドメタシン) カロナール(アセトアミノフェン) セレコックス(セレコキシブ) パファリン(アスピリン) ブルフェン(イブプロフェン) ボルタレン(ジクロフェナックナトリウム) ロキソニン(ロキソプロフェン)	アスピリン イブ、イブA タイレノールA ノーシンホワイトジュニア パファリンA フェリア リングルアイビー ロキソニン[S、Sプラス、Sプレミアム]	非ステロイド性消炎鎮痛薬は使用可能です。 カフェインは以前は禁止表に記載されていましたが、現在は監視物質に指定され、禁止されてはなりません。検査はされており、乱用が確認されると再度禁止物質に指定される可能性があります。 点滴は入院、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合以外は、12時間あたり計100mLを超える場合は禁止されています。
2. 咳・痰	アストミン(ジメモルファンリン酸塩) アスベリン(チペピジンヒベンズ酸塩) ビソルボン(ブロムヘキシリン塩酸塩) ムコソルバン(アンブロキシール) ムコダイン(カルボシステイン) メジコン(デキストロメトルファン臭化水素酸水和物) リン酸コデイン末(コデインリン酸塩) レスプレン(エプラジノン)	クールワン去たんカプセル 新コンタックせき止めダブル持続性 ストナ去たんカプセル タイムコール去たん錠	下記薬効成分は競技会では使用禁止です。 メキシフェナミン メチルエフェドリン エフェドリン プソイドエフェドリン ヒゲナミン マオウ(麻黄) ナンテン(南天) これらは市販の総合感冒薬に含まれるものが多いので、要注意です。 必ず成分を確認してください。 コデインは競技会検査の監視プログラムに含まれ、禁止されてはませんが検査はされています。乱用が確認されると禁止物質に指定される可能性があります。
3. のどの痛み	SPTローチ(デカリニウム) イソジンガーグル(ポピドンヨード) オラドールトローチ(ドミフェン臭化物) 含嗽用ハチアズレ(水溶性アズレン)	イソジンうがい薬 パイロンPL顆粒 パブロンSゴールドW[錠、微粒] ルルうがい薬	エフェドリン、ヒゲナミンなどの禁止薬物を含むものがあります。成分表示に、チョウジ(丁子)、ゴシユ(呉茱萸)、ブシ(附子)、サイシン(細辛)、ナンテン(南天)、マオウ(麻黄)の表示があるものは使用しないように注意が必要です。
4. 口腔内アフタ・口内炎	エンペシドトローチ(クロトリマゾール) ケナログ(トリアムシノロンアセトニド)* デキササルチン(デキサメサゾン)*	アフタッチA* ケナログA*	* 禁止物質である副腎皮質ステロイドが含まれていますが、口腔内疾患への局所使用は禁止されていません。

症状および病名	医師より処方を受ける薬(一般名)	処方箋不要、薬局で買える薬	注意
5. 鼻水・鼻つまり	アレグラ(フェキソフェナジン塩酸塩) アレジオン(エピナスチン塩酸塩) ジルテック(セチリジン塩酸塩) ゼスラン(メキタジン) タベジール(クレマスチンフマル酸塩) バイナス(ラマトロバン) ブリビナ点鼻(ナファゾリン硝酸塩*) ポララミン(クロルフェニラミンマレイン酸塩) レスタミンコーワ(ジフェンヒドラミン塩酸塩)	アルガード鼻炎クールスプレー <sup>a</sup> アレギトール コルゲンコーワ鼻炎ジェット* コンタック600ファースト タミナスA錠 ナザールスプレー* パブロン点鼻* レスタミンコーワ糖衣錠	海外で購入できるデソキシエフェドリンは、競技会検査での禁止物質で、日本国内への持ち込みも禁止されています。  * 血管収縮薬であるナファゾリンが含まれています。禁止表に入っていますが、点鼻では使用が認められています。使用回数が多くなり過ぎると、効果が低下したり粘膜の増生を起こしたりして、症状が強まることがあります。  糖質コルチコイドが含まれているものがあります。内服や点滴などの全身使用は禁止されています。
6. 細菌感染・黄色い痰や鼻汁	クラビット(レボフロキサシン) クラリス(クラリスロマイシン) ケフラル(セファクロル) サワシリン(アモキシシリン) ジスロマック(アジスロマイシン) パンスポリンT(セフォチアムヘキシセチル塩酸塩) ルリッド(ロキシスロマシリン)		ほとんどの抗生物質は使用可能です。 内服の抗生物質は医師の処方のみで入手可能です。
7. 酔い止め	トラベルミン(ジフェンヒドラミンサリチル酸塩、ジプロフィリン) ドラマミン(ジメンヒドリナート)	センパアQT・センパアドリンク トラベルミン・トラベルミンジュニア パンシロントラベルSP マイトラベル錠	

症状および病名	医師より処方を受ける薬(一般名)	処方箋不要、薬局で買える薬	注意
8. 胃炎・消化性潰瘍	アルサルミン(スクラルファート水和物) オメプラール(オメプラゾール) ガスター(ファモチジン) ガストローム(エカベトナトリウム水和物) プロテカジン(ラフチジン) セルベックス(テプレノン) タケキャブ錠(ボノブラザン) ナウゼリン(ドンペリドン) ノイエル(セトラキサート) パリエット(ラベプラゾールナトリウム) プロマック(ボラプレジンク) マーロックス(水酸化アルミニウムゲル、水酸化マグネシウム) ムコスタ(レバミピド)	アシノンZ エビオス錠 ガスター10錠 コランチルA顆粒 ブスコパンA錠	下記薬効成分は競技会では使用禁止です。 ストリキニーネ ホミカ  健胃消化薬として使われるSM散はベータ作用薬であるヒゲナミンが入っている可能性があるため、使用しないでください。
9. 下痢止め	タンナルビン(タンニン酸アルブミン) ビオフェルミンR(ラクトバシルス) ブスコパン(ブチルスコポラミン臭化物) ベンタサ(メサラジン) ミヤBM(酪酸菌) ラックビー(ビフィズス菌) ロベミン(ロペラミド塩酸塩)	新ビオフェルミンS錠・S細粒 イノック下痢止め エクトール ストッパ下痢止めEX 強ミヤリサン(錠) ロペラマックサット	下記薬効成分は競技会では使用禁止です。 アヘン  必要に応じて、抗生物質を併用することがあります。 抗生物質は医師の処方のみで入手可能です。  点滴は入院、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正當に受ける場合以外は、12時間あたり計100mLを超える場合は禁止されています。
10. 便秘	アミティーザカプセル(ルビプロストン) アローゼン(センナ) テレミンソフト(ピサコジル) プルゼニド(センノシド) ラキソベロン(ピコスルファナトリウム水和物) 酸化マグネシウム(酸化マグネシウム)	カイペールC グリセリン浣腸 ピコラックス コーラック	便秘薬にはエフェドリン、マオウ(麻黄)を含む製剤があり、競技会では使用禁止です。  肥満予防として市販されている製剤にも、エフェドリン、マオウ(麻黄)を含む製剤があります。競技会では使用禁止です。

症状および病名	医師より処方を受ける薬(一般名)	処方箋不要、薬局で買える薬	注意
11. 鉄欠乏性貧血	シナール(ビタミンC) フェジン注(含糖酸化鉄) フェルム(フマル酸第1鉄) フェログラデュメット(硫酸鉄) フェロミア(クエン酸第1鉄ナトリウム)	ファイチ ハマニック マスチゲン錠	下記薬効成分は競技会、競技外とも使用禁止です。 エリスロポエチン ダルベポエチン EPO-Fc EPO模倣ペプチド(EMP) メキシポリエチレングリコール-エポエチンペータ(CERA)  輸血(自己血を含む)、人工赤血球/血液成分輸注、血漿増加剤、競技会、競技外とも使用禁止です。  貧血にはいくつかの種類があります。原因を明かにした上で治療をしましょう。 鉄の補給は内服が原則です。静脈注射は量を厳密に制御する必要があります。
12. しんましん*アレルギー性皮膚炎	アゼプチン(アゼラスチン) アレグラ(フェキソフェナジン塩酸塩) アレジオン(エピナスタチン塩酸塩) アレロック(オロパタジン塩酸塩) アンダーム軟膏(ブフェキサマク) エバステル(エバスタチン) ザイザル錠(レボセチリジン塩酸塩) ザジテン(ケトチフェンフマル酸塩) ジルテック(セチリジン塩酸塩) タベジール(クレマスチン) デルモベート軟膏(クロベタゾールプロピオン酸エステル)* ポララミン(d-クロルフェニラミンマレイン酸塩) リンデロンVGクリーム、軟膏(ベタメタゾン配合)* レスタミンコーワ(ジフェンヒドラミン) レスタミン軟膏(ジフェンヒドラミン) ロコイド軟膏(酪酸ヒドロコルチゾン)*	アネミン内服錠 アレグラFX アレギトール アレジオン20 新オイラクスH* クラリチンEX テレスハイ軟膏* ラナケイン リビメックスコーワクリーム* レスタミンコーワ糖衣錠	副腎皮質ステロイド剤の全身投与(内服、筋肉内・静脈注射)は競技会検査で使用禁止です。 * 禁止物質である副腎皮質ステロイドが含まれていますが、皮膚への使用、点眼、点鼻は禁止されていないので使用可能です。

症状および病名	医師より処方を受ける薬(一般名)	処方箋不要、薬局で買える薬	注意
13. 結膜炎・ものもらい	アレギサル点眼(ペミロラスト) インタール点眼(クロモグリク酸ナトリウム) エコリシン点眼、眼軟膏(コリスチンメタンスルホン酸) ザジテン点眼(ケチフェンフマル酸塩) サンテゾーン点眼(デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム)* タリビッド点眼(オフロキサシン) デキサメサゾン眼軟膏(デキサメサゾン)* ニフラン点眼(プラノプロフェン) フルメロン点眼(フルオトメロン)*	アスパラ目薬Lプラス サンテ抗菌新目薬 マイティア抗菌目薬 ロート抗菌目薬EX	* 禁止物質である副腎皮質ステロイドが含まれていますが、点眼は禁止されていないので使用可能です。
14. 鼻炎・花粉症	アゼブチン(アゼラスチン) アルデシンAQネーザル(ベクロメタゾンプロピオン酸エステル)** アレグラ(フェキソフェナジン) アレジオン(エピナスチン) アレロック(オロバタジン) インタール点鼻(クロモグリク酸) エバステル(エバステン) ザイザル錠(レボセチリジン塩酸塩) ザジテン点鼻(ケチフェン) ジルテック(セチリジン) タベジール(クレマスチン) バイナス(ラマトロバン) プリピナ点鼻(ナファゾリン硝酸塩)* フルナーゼ(フルチカゾンプロピオン酸エステル)** ポララミン(クロルフェニラミン) レスタミンコーワ(ジフェンヒドラミン)	アルガード鼻炎クールスプレー アレギトール アレグラFX アレジオン10 アレルギール錠 エージーノーズクール* コルゲンコーワ鼻炎ジェット* タミナスA錠 ナーベルスプレー ナザールスプレー* ナザールブロック パブロン点鼻**・パブロン点鼻Z ピロットA プラタギン	* 血管収縮薬であるナファゾリンが含まれています。禁止表に入っていますが、点鼻では使用が認められています。使用回数が多くなり過ぎると、効果が低下したり粘膜の増生を起こしたりして、症状が強まる場合があります。  * * 副腎皮質ステロイドが含まれていますが、点鼻は禁止されていないので使用可能です。  禁止物質であるプソイドエフェドリンを含む製剤があり、競技会では使用禁止です。

症状および病名	医師より処方を受ける薬(一般名)	処方箋不要、薬局で買える薬	注意
15. 気管支炎 ・気管支喘息	アコレート(ザフィルルカスト) アドエア(サルメテロールキシナホ酸塩*、フルチカゾンプロピオン酸エステル**) アトロベントエアゾル(イプラトロピウム) インタールエアゾル(クロモグリク酸ナトリウム) オノン(プラシルカスト) オルベスコ(シクレソニド)** キューバル(ベクロメタゾンプロピオン酸エステル)** サルタノールインヘラー(サルブタモール硫酸塩)* シムビコート タービュヘイラー(ホルモテロールフマル酸塩水和物*、ブデソニド**) セレベントロタディスク(サルメテロールキシナホ酸塩)* テオドル(テオフィリン) テルシガンエアゾル(オキシトロピウム) パルミコート(ブデソニド)** フルタイド吸入剤(フルチカゾンプロピオン酸エステル)** フルティフォーム(ホルモテロールフマル酸塩水和物*、フルチカゾンプロピオン酸エステル**) ユニフィル(テオフィリン)		* 禁止物質であるベータ2作用薬ですが、吸入であれば使用可能です。 ただし、サルブタモール、サルメテロール、ホルモテロール以外のベータ2作用薬は、吸入であっても使用できません。 治療のために使用する時には、参加する競技会の30日前までに国際競技連盟またはJADAに治療使用特例(TUE)申請を提出する必要があります。 使用する人は、主治医または競技団体医事委員会を通じて手続きをしてください。  全てのベータ作用薬の全身投与(内服、注射、貼付)は常時禁止されています。  ヒゲナミン含有薬剤は常時禁止されています。  * * 禁止物質である副腎皮質ステロイドが含まれていますが、吸入は禁止されていないので使用可能です。  下記薬効成分は競技会では禁止されています。 メチルエフェドリン エフェドリン マオウ(麻黄) メキシフェナミン プソイドエフェドリン  これらは市販の総合感冒薬に含まれるものが多いので要注意です。成分を確認してください。
16. 高血圧	アジルバ(アジルサルタン) アダラート(ニフェジピン) アムロジン(アムロジピンベシル酸塩) オルメテックOD錠(オルメサルタンメドキシミル) ディオバン(バルサルタン) ニューロタン(ロサルタン) ノルバスク(アムロジピン) バイミカード(ニソルジピン) プロプレス(カンデサルタン) ヘルベッサー(ジルチアゼム) レニベース(マレイン酸エナラプリル)		下記薬効成分は競技会、競技外とも使用禁止です。 全ての利尿薬  利尿薬を含む配合製剤があるので、成分を確認してください。  ベータ遮断剤は禁止している競技(アーチェリー、ゴルフ、スキー、射撃など)があります。
17. 低血圧	ジヒデルゴット(ジヒドロエルゴタンメシル酸塩)		下記薬効成分は競技会で禁止されています。 エチレフリン メチル酸アメジニウム

症状および病名	医師より処方を受ける薬(一般名)	処方箋不要、薬局で買える薬	注意
18.糖尿病	アマリール(グリメピリド) グルコバイ(アカルボース) ジャヌビア(シタグリブチンリン酸塩水和物) スーグラ(イプラグロフロジン) ビクトーザ(リラグルチド) ベイスン(ボグリボース) メトグルコ(メトホルミン) ラスチノン(トルブタミド)		インスリン以外の糖尿病治療薬は使用可能です。  * インスリン製剤は、競技会、競技外とも使用禁止です。 治療のために使用する時には、参加する競技会の30日前までに国際競技連盟またはJADAに治療使用特例(TUE)申請を提出する必要があります。 使用する人は、主治医または競技団体医事委員会を通じて手続きをしてください。
19. 痛風・高尿酸血症	アロシトール(アロプリノール) インダシン(インドメタシン) コルヒチン(コルヒチン) ザイロリック(アロプリノール) フェブリク(フェブキソスタット) ブルフェン(イブプロフェン) ボルタレン(ジクロフェナック) ユリノーム(ベンズブロマロン)	アスピリン イブA バファリンA フェリア ロキソニンS	下記薬効成分は常時禁止されています。 プロベネシッド
20. 無月経	デュファストン錠(ジドロゲステロン) トリキュラー錠21、28(エチニルエストラジオール・レボノルゲストレル) ノルレボ錠(レボノルゲストレル) プラノバル配合錠(ノルゲストレル・エチニルエストラジオール) プレマリン(結合型エストロゲン) マーベロン21、28(エチニルエストラジオール・デソゲストレル) ルナベル(ノルエチステロン・エチニルエストラジオール) ヤーズフレックス配合錠(エチニルエストラジオール・ドロスピレノン)		月経周期の変更に用いられる混合ホルモンは使用可能です。

症状および病名	医師より処方を受ける薬(一般名)	処方箋不要、薬局で買える薬	注意
21. 外傷・障害	アスピリン(アセチルサリチル酸) アドフィード(フルルビプロフェン) インテバン(インドメタシン) カルボカイン(メピバカイン塩酸塩) カロナール(アセトアミノフェン) キシロカイン(リドカイン塩酸塩) ケナコルト(トリアムシノロン)* デカドロン(デキサメタゾン)* ブルフェン(イブプロフェン) ボルタレン(ジクロフェナックナトリウム) モーラス(ケトプロフェン) リリカ(プレガバリン) リンデロン(ベタメタゾン)* ロキソニン(ロキソプロフェン)	アンメルツ イブA エアーサロンパスEX トクホンIDゲル バイエルアスピリン パテックスリニア バファリンA バンテリンコーワ フェリア ホルタレンACUシリーズ (テープ、ローション、ゲル) メンフラ ロキソニンS	* 禁止物質である副腎皮質ステロイド製剤ですが、関節内注射、関節周囲注射、腱周囲注射、硬膜外注射は認められています。  非ステロイド性消炎鎮痛薬は使用可能です。  局所麻酔薬は使用可能です。
22. 消毒薬	イソジン(ポビドンヨード) オスバン(ベンザルコニウム塩化物) ヒビテン(クロルヘキシジングルコン酸塩)	イソジンS オキシドール オスバンS マキロンS 希ヨードチンキ	
23. 不眠	アモバン(ゾピクロン) セルシン(ジアゼパム) ハルシオン錠(トリアゾラム) ベンザリン(ニトラゼパム) マイスリー(ゾルピデム酒石酸塩) ロゼレム錠(ラメルテオン)	ドリエル	海外へ持ち込むときは、診断書を要することがあります。
24. 経口避妊薬	アンジュ21錠、28錠(エチニルエストラジオール・レボノルゲストレル) オーソ777-21錠(ノルエチステロン、エチニルエストラジオール) ノルレボ錠(レボノルゲストレル) ファボワール錠21、28(エチニルエストラジオール・デソゲストレル)		



症状および病名	医師より処方を受ける薬(一般名)	処方箋不要、薬局で買える薬	注意
25. インフルエンザ	アマンタジン(塩酸アマンタジン) イナビル(ラニナミビル) インフルエンザHAワクチン タミフル(リン酸オセルタミビル) ラピアクタ(ペラミビル) リレンザ(ザナミビル)		ワクチンは毎年11月頃に接種が望まれます。 13歳以上は1回接種で良いとされています。 完全な感染予防にはなりません、ある程度の感染予防と重症化防止に役立ちます。
26. 呼吸困難感	酸素	各種の酸素ボトル 酸素入りスプレー缶	酸素吸入は禁止されません。 高圧高濃度酸素治療、酸素カプセル、もしくは低圧テントは禁止されません。
27. 月経困難症・子宮内膜症	ディナゲスト(ジェノゲスト) ヤーズ(ドロスピレノン/エチニルエストラジオール) ルナベルLD、ルナベルULD(ノルエチステロン/エチニスエストラジオール)		

※使用可能薬を確認する手段としては、次のようなものもあります

1. 日本スポーツ協会発行「ドーピング防止 使用可能薬リスト」  
<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid537.html>

2. 日本薬剤師会発行「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」  
<https://www.nichiyaku.or.jp/activities/anti-doping/index.html>

3. Global DRO JAPAN: イギリス、カナダ、アメリカ、スイス、オーストラリア、日本で販売されている商品名での検索が可能なサイト  
<https://www.globaldro.com/home/index>